



ひろみ食堂開店です！

若年性認知症当事者の活動です。



【ひろみ食堂について】

ひろみ食堂の店長であるひろみさんは、58歳の時、若年性のアルツハイマー型認知症の診断を受けました。料理が好きなことから、支援者の紹介で、こども食堂である「となりのれすとらん」を一時期手伝っており、その腕の良さは評判となっていました。

数年前にがんと診断され、現在闘病中ですが、「大好きな調理のお手伝いをしたい！」とのひろみ店長の思いがあり、その思いをかなえるべく、今回、認知症にやさしいまちづくりを目指しているボランティア

団体「認知症フレンドリーよこすか」と「となりのれすとらん」が協力して、ひろみさんが店長となってお弁当を作り販売する「ひろみ食堂」を開店しました。

当日は、多くの方の協力があり、お弁当の売れ行きも好調でした。まだまだ出来ることがたくさんある、ひろみ店長です。



【となりのれすとらん店長 福永さんのお話】

となりのれすとらんでは、お子さん、障害のある方、年配の方も受け入れています。子どもたちには、認知症や障害などで、できないことがある人の、できないことをできる人が穴埋めをすれば、世の中が丸くなると伝えています。そしてご縁です。(認知症の)ひろみさんと出会うこと、いろいろな人と出会うことが大事だと伝えています。

今回、ひろみさんの体も心配ですが、ひろみさんと一緒に調理がしたいと、私の思いを周りの人に伝えて実現しました。当日は、たくさんの方に来ていただけて、とてもよかったです。

問い合わせ先:健康長寿課 介護予防係 (046-822-8135)

【ひろみ店長】



【お弁当づくりの様子】



【お弁当販売の様子】



【販売したお弁当】

